

喝破だより 四恩の里

喝破五訓

- 一、よろこんで与える人間となろう
- 一、いのちを大切に作る人間となろう
- 一、心静かに考える人間となろう
- 一、使命に生きる人間となろう
- 一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発行 公益財団法人 喝破道場 社会福祉法人 四恩の里 宗教法人 報四恩精舎 発行者 野田 大燈
 住所 〒761-8004 高松市中山町1501番地9 TEL 087-882-4022 FAX 087-881-5906 一部500円
 E-mail kappa@kappa.or.jp URL https://www.kappa.or.jp 郵便振替口座 徳島 01630-6-9731

巻頭言

生活の中の禅

— 勿体ないと茶道 —



— 五色台焼きの五行角抹茶碗 —

抹茶碗の出品依頼を受けて製作に作りに取り組んでいますと、今は亡きお師匠様とお抹茶を頂いている折に話されたことが不意に蘇りました。「今の茶道の元を辿れば典座和尚の『勿体ない!』の心からだ。禅寺の昔は何時も食事に苦心していた。野で採取して来た茶葉を蒸して丸めて乾かして主食の代用としていた時代もあった。所謂「団茶」だ。保存してある容器から団茶を取り出していると乾燥している茶葉の欠片が底に残る。典座和尚はこのほんの少しの粉末も勿体ない、と思つて器に移し、何気なく熱湯を入れて箸で攪拌

して一口飲んでみた…。これが抹茶の始まりなのだ。大燈、「勿体ない」と言う気持ちを忘れると禅僧ではない」
 勿体ない、はあらゆる存在に仏性を見出して光を当てることだと諭されました。
 因みに辞書では「勿体ない、は仏教用語に依るもの成れど、和語として使用されており、物の本来あるべき姿がなくなるのを惜しみ、嘆く気持ちを表している。」とありました。
 私は今、野辺の土塊に水を加えて造形し、熱して茶碗や皿・壺を作陶してありますが、土塊は命を吹き込まれ生活の必需品としての働きを為し、使うに従つて愛着も出てきます。
 然し勿体ない、と吝嗇(りんしょく)は異なることを忘れてはならないと思います。
 焼き物は命を与えられても何時の日にかは役目を終えて土塊に戻るのが無常の世界です。
 茶道には疎いのですが、茶事で使用される抹茶碗は韓国では単なるご飯碗であったものを、千利休居士が抹茶碗として茶道に取り入れた、と記憶しています。
 元は韓国のご飯碗だったものが茶道に取り入れられ、戦国時代には抹茶碗一個と城一つが交換された、と言う様な時代もあったとか。
 茶道には関わりのない現代の一般家庭でも「ご飯茶碗」と称してしまふので面白いですね。
 しかし韓国のありふれたご飯碗を

茶道に取り入れた千利休居士は禅修行の根本を体得されていたからこそ「侘び寂び」を重んじ華美を嫌ったのでしよう。
 一時は利休居士の弟子でもあった秀吉には禅の素養がなかったためか、利休居士に反発するが如くに純金の茶釜を作らせて茶会を開くなど華美の極を尽くしました。
 切腹を命じられた利休居士に取つての死は生物に与えられた「生死」セットを粛々と受け入れた迄でしょうが、天下を手中に収めた秀吉は、吾亡き後の豊臣家の存亡や安泰、そして愛し子秀頼の安寧を願つてすべての煩惱を背負つての他界であつたと思います。
 あらゆる存在の命を惜しむ勿体ない、の心が花開く時には戦争も競争もなくなり、一般家庭の生活サイクルも変わり、共存共栄の世界平和が訪れることでしょう。
 その一步は足下であり、朝食を美味しく頂いて残飯を出さない工夫からだと思ひます。
 生活用品を総て購入するのではなく、工夫する事で愛着も生じて大切に扱うようになるでしょう。
 私は修行時代に与えられた五点セットの応量器(食器)を食事毎に今以て大事に使用させて頂いています。
 何時の日にか塗りも剥げ落ちて使えなくなるからこそ『勿体ない』と丁寧に使わせて頂いています。
 — 大燈記 —

自立塾 (一六六一)

― 春の兆し ―

禅をきく会

一日は高松サンポートホールで曹洞宗四国管区教化センター主催「禅をきく会」が開催され、塾生の皆と参加しました。

第一部は岩崎順子さんの講演で「ほとけさまはあらゆるものに姿を変えて…」でした。



心に響くお話し

肺がんを患った夫と三人の幼い子供たちとの生活の中で、生きているのではなく生かされていたことに気づかせられていく日々の話や、最後は自宅で肺がんのため他界した夫の傍で泣いて震えていた子供たちが、あることがきっかけで、父親の顔にさりげなく寝転んで最後には子ども達が父親のおなかの上に馬乗りになって遊び、いのちを五感で体験し

た時間をお話しくださりました。がんに出会って、あたり前のことなんて何一つなく、全部有り難かったと気が付いたそうです。肺がんが病気という枠を超えて見せてくれたもの、気づかせてくれたことを教えてくださりました。

第二部は法要ライブ 法悦「声明いのり」を四国管内の青年僧侶十五名が勤めました。塾長も袈裟を纏い登壇しました。ステージ上を本堂に見立てて、坐禅や読経を行いました。読経では特別な行事でしか行わない「声明」(仏典に節をつけた仏教音楽のひとつ)を披露し、自然災害慰霊法要並びに復興祈願法要を行いました。



開催のご挨拶

ロウソクを灯し、青年僧侶が奏でる声明は心打たれるものがあつた事でしょう。

普段はほとんど農作業しかしない塾長ですが、塾長もお坊さんなんだと分かってもらえたようです。

ヒラメ釣り

八日は釣りに出かけました。初めての船釣り体験のR君はワクワクがっぱいで前夜はあまり眠れなかったそうです。S君は体調不良から釣りに行けませんでした。狙うは旬のヒラメです。



ヒラメの当たりを待ちます

なかなか当たりも無く、風も強まり、諦めかけていた時にR君の竿が大きく曲がりました。釣れたのはなんと七〇cm弱の巨大なヒラメでした。



夕食はヒラメのフルコースでした。特にムニエルは美味しかったようです。次回はS君も一緒にまたヒラメを狙います。

頑張れ!! 『自立塾』 私達も応援しています。

ぜいへん
蛻変の経営
大坂塾



<http://www.osaka-juku.com/>

本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006

香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『喝破道場』 私達も応援しています!

株式会社ギフトグッズ
Gift Goods
株式会社 ギフトグッズ

株式会社ギフトグッズ

香川県高松市六条町1205-1

TEL 087-814-4990

FAX 087-814-4991

新しい世界を楽しもう

ハーブ園便り

ハーブ園では二月の後半からローズマリーの花が徐々に咲き始めました。例年は四月上旬にローズマリーの花が満開になるので、やはり開花が少し早まっています。



後一ヶ月もすれば、満開の桜とローズマリーの青い花が一面にみることが出来ます。早くも楽しみです。



ローズマリーの開花が早まっているのは、暖冬の影響ですが、その影響はローズマリーだけではなく、カモミールにも影響がでています。昨年育てたカモミールから自然に種がこぼれ落ちて芽を出したカモミールの苗は早くも大きく育っています。例年は三月中旬に行う、カモミールの移植と植え付け作業を二月の後半に終わらしました。



育ちが早いという事は、開花も早まり、花の収穫作業も早まります。ハーブの育成計画を見直す必要がありますが、このまま暖冬が続く、春を迎え、いつもの暑い夏がきて、順調に秋を迎えるとは思えません。どこかで異常気象現象が発生する可能性は大いにあります。農業の難しさは、自然に左右されることです。常に植物を観察しながら状況に応じた対応ができるよう努めます。今年のカモミールは順調に育て

ば、初摘み取りが三月末となり、来月号のハーブ園便りでは初摘みカモミールティーのご案内ができると思います。

カモミールティーの香りは、果物のリンゴに例えられる事が多く、ほのかに甘い香りです。温かいカモミールティーを飲む時に、ふわっと立ち上る湯気をかぐと、何とも言えない優しい気持ちになります。

イライラしている時、不安な時、優しく包み込んでくれるような香りです。主な効能・効果は、鎮静、抗炎症、抗痙攣、発汗、消化促進、抗菌、殺菌、利尿、嘔吐予防です。



五色台で育てるカモミールは、香りがとても良く、フレッシュな香りと爽やかな味わいは他で市販されているカモミールティーとは別次元です。楽しみにお待ちいただきたいと思

人と企業を結んで31年!

新聞折込

私達も応援しています。『自立塾』

Human Network

求人タイムス

主要全国紙にて絶賛折込中
朝日・読売・毎日・日経・産経

株式会社 求人タイムス社

本社 / 観音寺市本大町1541-3
TEL(0875)25-0404

高松営業所 / 高松市林町230-6 極東ビル1F
TEL(087)864-6373

<http://www.kyujin-times.net>

『自立塾』
私達も応援しております。

キッチン・バス・トイレ・増改築・ボイラー工事
四国ガスショップ・四国電力認定店
高松市上下水道工事指定工事店

廣瀬 住宅総合サービス

(本社) 高松市末広町6番地9
☎822-5478代 ☎0120-512677

(離島店) ☎861-3167



企業研修

「喝破道場での研修を通して」

今回の研修で体験したことでは、自然の中でのハーブ収穫や滝下りの体験、禅の価値観と食事についての講話、娑婆の概念と鍋ぶた売りのビデオの三つが印象的でした。

・ハーブ収穫、滝下り

いずれも自然とその中での自己を見つめることが大切だと聞きました。普段の仕事では工場内での時間に追われた作業であり、そのプレッシャーによるストレスからか、帰宅後や休日には酒、外食などストレスを打ち消す欲が出てしまうことがあります。しかし、自然の中で自分ただそこにいるということを感じることで自己を肯定し、不思議と欲はなくなつたように思います。

・禅の価値観と食事についての講話
(五観の偈)

禅では、「五観の偈」が重要な考え方であると講話で教わりました。この中で一の考え方である食事ができるまでの手間や苦労については、これまでの自分の価値観と合致するもので共感できました。また、食事のとり方にも表れていて、つけものとお湯で食器を洗うことにつながる

ことが理解できました。また、食事そのものについても、肉魚を一切使っていないものでしたが正直な感想として素朴なおいしさに感動しました。(他の人はあまり良い感想はききませんでした)

・鍋ぶた売りの映像や娑婆の世界

自分は娑婆世界に生き、いち会社員として自分ができる限りの仕事のための勉強や自分をアピールし仲間を増やすこと、人間関係も大きな力になることを学びました。同時に、それらを外から見つめ直し、本当に大切なことは何であるかを改めて考えることもできました。

R社 A・M



企業研修

「規律研修を通して」

私は、今回の喝破道場での規律研修を通して、社会人として大切な心構えをいくつも学ばさせていただきました。

一つ目は、食物への感謝の気持ちを持つことです。精進料理では、食事の前に感謝の言葉を発声したり、食事中も一口一口よく噛んで味わつてから飲みこむことで、それぞれの食材のありがたみを実感することができました。

また、喝破道場理事長の講話では、食事前に唱える感謝の言葉に、どのような意味が込められているかを一つ一つ丁寧に説明していただきました。これから食事する際にも、感謝の気持ちを忘れないようにしようと思いました。

二つ目は、自分のペースへ合わせていく大切さです。今回の研修では全て団体行動なので、自分本意で動く、他の人全員に迷惑がかかってしまいます。これは、会社においても同じで、その日決まった量の仕事があるのに別事をすると、配属されているグループ全員の予定がくるとしてしまふ結果となつてしまいます。仕事をする際には、グループ全体の

R社 T・I



工枝重



大阪市 山口 近香

へスズメのお花見

安部麗子

雨が上がり、昨日よりもずっと暖かくなつた朝です。

牧場の納屋の屋根裏では、お母さんスズメが小スズメたちを、チュンチュンと起こしています。

「まだ眠いよう。起きらんないよう」「鳥のくせに夜更かしするからだよ」お母さんは、子供たちをパツパツと追い立てながら言います。

「だってだって…納屋の明かりがずつついてて、昼間みたいに目が見えたんだもの。」

下ん家の子供たちなんか、一晚中歌を歌つたり、お話したりして遊んでたよ」「よそはよそ。うちはうち。」

第一、下のお宅はフクロウさん家じゃないか。フクロウさん達は今からおやすみになるんだから、うるさくするんじゃないよ。

静かに支度おし」

「あ、もしかしてお母さん、どっか連れてつてくれるの?」

「わーい!わーい!」

「しーっ!静かにおしってば」

こうしてお母さんスズメと三羽の小スズメたちは、お日様の昇る前に出発し、南へ向かったのです。空気がどこもかしこもしつとりとして、萌でたばかりの柔らかな緑や、畑や田んぼや工場の上に、薄いミルクのような霧がたちこめています。

長い灰色の道を、トラックや乗用車やバイクが、休みなく流れて行きます。猛スピードで走って行く、細長い電車も見えます。

小スズメたちは、初めて見る景色が、ただただ珍しく面白く、いちいち感動の声を張り上げていました。が、だんだん疲れて無口になってゆきます。

無理もありません。

まだ羽の力が弱いので、お母さんについて行くのがやっとなのです。

無口になるのと一緒に、だんだん下の景色を見る余裕もなくなり、早くこの旅が終わらないかと、そればかり考え始めます。

「さあ着いたよ」と、とうとうお母さんが言います。

言いながら、花のたくさん咲いている枝に止まります。

小スズメたちは、アーツと叫びます。

一面真っ白なところ。うつつすらと桃色がかつた、雲の中にいるようです。

「雪だね、お母さん!」

「そうだね。雪のようだね」

「海なの?お母さん」

「そうだね。海のようにだね」

「でも甘い匂いがするよ。」

「ここはどこなの?天国?」

「そうだね。天国と言ってもいいだろうね。」

お母さんが上を見上げたので、小スズメたちも一緒に上を見上げます。

真っ青な空に、ふっくらとしたきれいな形の白い花が、何万と集まってまぶしく輝いています。

お母さんは、今度は下の方を見ます。白い花の隙間から、青い水を満々とたたえたお堀が見えます。

お堀に向かって、同じ白い花をつけた木々が、ずらりと並んで枝を垂れています。

枝越しに見える向こう岸も、白い花が高い斜面を覆い尽くしています。斜面の上に見える森の中に、かすかにお城の屋根が見えます。

「この花はサクラと違ってね、みんなのお家の方にももうじき咲くんだよ。でも、お前たちに早く見せたくて、一足先にお花見に来たんだよ」

見渡せば、お城の周りばかりでなく、ずっと遠くの方にまで、あちこちにうす桃色の固まりが見えます。

まるで、国中が幸せの雲に包まれているようです。

そこに、別の小鳥たちが到着します。

オナガやヒヨドリやウグイスや、いろんな鳥がやって来て、枝に止まるやいなや、すぐに仲良くなります。

そして、今年のお天気の話や、虫のとれ具合などのうわさ話を始めます。その賑やかな事と云ったらありません。

話の合間には、花の茎を噛み切って、甘い蜜を吸います。

蜜を吸い終わった花は、クルクル回りながら下に落ちて行きます。

たくさん鳥たちがいっせいに蜜を吸うものだから、まるで雪が降っているようです。

地面は、たちまち白く埋まって行きます。でも、花はあまりにたくさん咲いているので、鳥たちが落とすぐらいいは、何の変わりもありません。

それから毎日、鳥たちはあつちの枝、こつちの枝と飛びながら、蜜を吸い、おしゃべりをします。

その内に、何日か雨が降り、強い風が吹いたと思つたら、あんなにもたくさんあつた花は、あつという間に無くなってしまいます。

鳥たちは、それぞれの住処に帰って行きます。

牧場のスズメ一家も、長い旅をして家に帰ります。

帰り道は、羽が丈夫になつたためでしょうか、ちつとも苦にはなりません。

そして、半月もすると、今度はこの地方の桜が満開になつたのです。

了



この頁は、
公開していません。

戴き物一覧

1月21日～2月20日

一 書籍、カレンダー、メモ用紙
東京都板橋区

(株)リブラン知の貯金箱

一 りんご

太田 貴信様

一 山形県天童市

村山 光男様

一 洋菓子

一 愛知県豊田市

廣田 昌彦様

一 お惣菜

一 広島県広島市

中川 夏魅様

一 調味料

一 香川県高松市

茶寮藍 様

一 お菓子たくさん

一 香川県高松市

アイゼン浜街道店様

一 讃岐うどん

一 観音寺市

匿名 様

ご寄付

1月21日～2月20日

東京都町田市

清水 優子様

香川県高松市 全国PHP友の会

PHP思いやり運動様

香川県観音寺市

匿名 様

令和元年度(2月20日現在)

ご寄附総額は、

百四十一万九千円です。

皆様方の温かいご支援に、

心より感謝申し上げます。



朝活禅

自分の姿勢と周囲の環境を整えて、坐蒲に坐つたら、あとは自然にまかせ、あなたの本来に任せる。あなたの呼吸は自然に宇宙と合つてきます。ゆっくりだろうが、速かろうが、その速さは人それぞれ違つていいのです。身体を整え、環境を整え、呼吸が整うと、自然と心が整つてきます。ひととは、人生において様々な出来事を経験いたします。そして、過ぎ去つた過去・まだ来ぬ未来に心をとらわれ、悩み苦しみます。ただ、目の前の事だけに全力をつくしましょう。

【スケジュール】

六時 喝破道場集合

六時一〇分 坐禅開始

六時五〇分 読経

七時一五分 朝食(朝粥・精進料理)

七時四五分 解散

平日(月曜日～金曜日 予約要)
料金 一名 一五〇〇円



禅語紹介

・日日は好日(にちにもちこれこうじつ)
どのような日でも毎日新鮮で最高に良い日だという意味。雨の日も風の日も、その時の感情や状態を大いに味わつて過ごせば、かけがえのない日になる。

・行雲流水(こううんりゅうすい)
自由に生きていこう。大空に浮かぶ雲。行く手を阻む大きな岩が出てきたつて、なんなく流れていく水はこだわりなくぐんぐん進む。自由に生きていきましようよ。

・我逢人(がほうじん)
人と会うことからすべてが始まる。人と人との出逢いの尊さを三文字で表した言葉。出逢いこそ命。

・平常心是道(ひょうじょうしんこれどう)
人生に近道なし。平常心とは、当たり前のこと大切を育む日々が平常心。

・一期一会(いちいちいちえ)

人は丁寧に会つてこそ。この出会いは二度とないと思えば、出会いを大切に。人、今日の自分との出会い、今日の景色、厳密には毎日が二期一会なのです。



「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、更なる社会貢献を図つて参ります。どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附に対しましては、公益財団法人の活動として租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一号に規定する要件を満たしております。「税額控除に係る証明書」が発行されますので、節税としてもご利用下さい。

購読料 年間五、〇〇〇円
ご寄付 一口五、〇〇〇円
(一口以上、何口でも結構です)

郵便振替口座 01630・6・9731
公益財団法人 喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカッパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下端一枠
(ヨコ8cm×タテ6cmほど)
年間12回 60,000円
受付 087・882・4022

二月の日鑑

- 1 禅をきく会
於 高松サンポート 小ホール
薬師講
11 8 イオン幸せの黄色いレシートキヤ
ンペーン参加 於 高松イオン
山王小祭
15 山王小祭

三月の予定

- 11 8 薬師講
イオン幸せの黄色いレシートキヤ
ンペーン参加 於 高松イオン
山王小祭
21 15 春彼岸法要 午前10時
於 報四恩精舎本堂

大燈和尚二月の日鑑

- 1 ヤギ全頭(八頭)の引き渡しで
ヤギ小屋閉鎖
4 圓通寺「定例坐禅会」
7 NPO法人「まほろば」創立記念会
で特製432Hzサヌカイ陶琴で演奏
於 松山道後メルパルク松山
8 四恩の里法人社会貢献事業とし
ての講演会 於 四国学院大学
家庭倫理の会おはよう倫理塾に
てサヌカイ陶琴演奏
9 於 観音寺琴引き会館
亀山学園監査
10 若竹学園定例参禅会
10 香川東高校演奏会で音楽家生徒
自作のサヌカイ陶琴で演奏
10 於 高松シンボルタワー一階市民
ホール
12 さぬきPHP友の会主催講演
於 太田町ふれあいホール

- 17 社会福祉法人「四恩の里」施設
管理者会議 於 亀山学園
18 (財)タダノ奨学会理事会
於 タダノ本社 翠峰会館
18 圓通寺「定例坐禅会」
19 高松家庭裁判所より視察来山
19 高松栗林公園民芸販売
25 「栗林庵」にてサヌカイトの里
物販イベント
21 遍路体験ツアーで坐禅体験
(四国遍路の会主催)
27 自立援助ホーム「なごみハウス圓」
職員会議
29 四国遍路ウォークラリーに若竹
学園参加&こども遍路小屋お接待

大燈和尚三月の予定

- 2 高松市保健福祉圏域連絡会会議
於 香川県社会福祉総合センター
3 曹洞宗社会福祉連盟理事会
於 曹洞宗宗務庁仏間
7 香川県東高校音楽科生徒による
「サヌカイ陶琴」演奏発表会
於 高松シンボルタワー一階市民
ホール
10 圓通寺「定例坐禅会」
10 社会福祉法人「四恩の里」施設
管理者会議 於 若竹学園
16 児童養護施設「亀山学園」卒園式
16 社会福祉法人「四恩の里」理事会
於 圓通寺
20 香川県高齢者協同組合「彼岸会
法要」於 圓通寺
24 圓通寺「定例坐禅会」
26 若竹学園卒園式
27 社会福祉法人「四恩の里」評議員会
於 圓通寺

編集後記

昨今のニュースは薬物と不倫と新型コロナウィルスが持ちきりで、本当に大事な伝えるべきことが伝わってこないように感じます。ですがやはり、コロナウィルスは他人事ではありません。

先月号の編集後記でもふれましたが、中国国内の感染者は一月末時点で四五〇〇人を超え、死者は一〇〇人以上になっており、日本国内で確認された感染者は一四人です。と記載しましたが、この一ヶ月で急激に増えています。外国では韓国やヨーロッパにも拡がり、外国での感染者は約八万人、死者は約二千八百人とされ、日本国内での感染者は約百八十人、死者三名となっております。

四国でも感染者の報告がありました。四国でも感染しているけれども症状がなく受診していない隠れ感染者が大勢いるのではといわれています。

目に見えない恐怖は人を不安にさせ疑心暗鬼になり、知らず知らず差別や暴言、暴力、延いては戦争にまで発展するかもしれません。現にヨーロッパではコロナウィルスによるアジア人への人種差別があったと報告されています。

世界を席卷するコロナウィルスと向かい合うとき、仏教者としてどう対峙するか深く考えさせられます。

—— 大然後記 ——

児童施設で働いてみませんか

- 職 種：管理者候補 医師(精神科医)
心理 保育士 児童指導員 事務員
勤務先：四恩の里 本部
児童心理治療施設 若竹学園
児童養護施設 亀山学園
自立援助ホーム なごみハウス圓



連絡先：香川県高松市中山町1501-192
社会福祉法人四恩の里 本部 ☎087-816-1380
メールアドレス: 4on@4on.or.jp ホームページ: http://4on.or.jp